

『あるって くるぶニュース』は、芸術分野の様々な活動とまちづくり運動を自主的に企画、運営、支援する市民のグループで、非営利組織の、『アルテクラブ』(Arte club)の活動状況のご報告と今後の予定、他の地域で活動しているグループの情報をお知らせするメディアです。ホームページ <http://arteclub.org> では、カラーでご覧になれます。  
 ・・・・こんな活動をしています、ご参加ください・・・  
 どなたでも参加できますが、会員には特典があります。

アルテクラブ ギャラリー

—— 活動のご報告 ——

田中千鶴子展<立体> 7月4,5,6,11,12,13日

命と大地

46億年の記憶をはらむ大地  
 そして今 ここにあること  
 記憶の鎖をつなぐ.....

2003.7  
 企画展によせて

大地の下にしっかりと下ろされた根を感じさせる鋳鉄の作品。壁面の小品は今までのエスキスをカットした上から、型押しした錫の板をとめたもの。繰り返し展開されるパターンに、田中さんの思考の“鎖”を見たようです。



作品について説明する田中さん

—— これからのスケジュール ——

- ◆ 2003年 アルテクラブ企画展  
 鷹啄栄峰展<平面> 9月5,6,7,12,13,14日  
 金土日のみ開廊です!  
 開廊時間 12:00~19:00 ・川越 三番町ギャラリー
- ★ オープニングパーティー 9月4日(木)18:00~  
 キーボード 尾島由郎さん、柴野さつきさん。  
 ソフィスティケートされた演奏をお楽しみ頂きます。

.....作家より.....  
 認識の試行を始めた時からある種の存在を感じる。ある種の存在とは、過去の残余が語る静かな生命感であろう。そして、存在を探そうとする試行の中に残余の時間と生命感を私は感じる。

- ★ 作家プロフィール.....  
 愛媛県生まれ  
 1981 国展国画賞 (79~84 国展)  
 文化庁現代美術選抜展  
 1984 上野の森美術館絵画大賞展  
 1987・88 エンバ賞美術展  
 1989 壁画レリーフ制作・秩父市文化体育センター  
 1986~89・91~ モダンアート展  
 1999 六月の風展  
 1993・94・96・98・00 C A F 展  
 2000・01 Asian Art Now 2000:Las Vegas  
 2001 第2回日仏現代美術大賞展  
 日・韓現代美術交流展  
 アイスランド・日本現代美術展  
 2002 21世紀「無・名展」  
 ギャラリーモテキ 25周年記念企画展  
 第52回埼玉県展・県議会議長賞  
 日韓米交流 2002 現代美術企画展  
 C A ・ G Y ギャラリーヨコハマ企画展

—— これからのアルテクラブ展 ——

- 中村斎子展<立体> 10月3日~
- 井草裕明展<平面> 50回記念 11月21日~
- 高山典子展<陶オブジェ> 12月5日~

—— お知らせ ——

- \* 馬場文衛 展  
 9.1(月)~9.9(火) 3日(水) 休廊 11:00~18:30  
 ギャラリー棟 <GALLERY KUNUGI>  
 川越市連雀町 8-1 TEL 049-227-1017  
 『なんだかおもしろそーな?』
- \* 2003 日本CRAFT展  
 9月3日(水)~8日(月) 松屋銀座8階  
 主催 財団法人 日本クラフトデザイン協会  
 川越の<吉田文さん>がスクリーンを出品しています。見に行きましょう!

—— 活動のご報告 ——

♪ <田中千鶴子展> オープニングコンサート

7月3日(木)

フルート、ピッコロ：桜井葉子さん  
オーボエ、イングリッシュホルン：上条貴志さん  
お二人とも、武蔵野音楽大学卒業、フルートアンサンブルや室内楽などを中心に演奏活動をするかわら、後進の指導にもあたっています。

グレゴリオ聖歌より (7世紀)

キリエ

アヴェ・ヴェルコム・コルプス

F. クープラン (1668-1773)

恋のうぐいす

W. A. モーツァルト (1756-1791)

夜の女王のアリア ~歌劇「魔笛」K. 620

奥様お手をどうぞ

~歌劇「ドン・ジョバンニ」K. 527

A. ドボルザーク (1841-1904)

スラブ舞曲

E. ボザ (1904-1991)

二つの小品

浜辺の歌

田中千鶴子さんのテーマである、<記憶の鎖をつなぐ>に添い、7世紀から現代まで、<音による記憶の鎖をつなぐ>というコンセプトで構成されたプログラムで、懐かしく、かわいく、情熱的に、物語が展開されました。

今回は、上条さんの蝶ネクタイが飛ばなかったことを申し添えます。



左 桜井さん。右 上条さん。

“本日のめにゆー”  
《 田中千鶴子展 》

2003/07/03

- あじの南蛮漬け
- 油揚げのねぎみそ焼き
- 帆立カナッペ
- 魚介の黒酢ソース
- 2種の春雨サラダ
- 鶏のピリ辛炒め
- にがうりと香味野菜のおかかしょうゆ炒め
- 開口笑 (ごまドーナツ)
- ココナッツゼリーのタピオカミルク  
Food Coordinated & Cooked by CHIAKI

\*\*\*\*\*

- なすのスパイシーライス (MAKI Supecia 1)

\*\*\*\*\*

千秋さんが主催する“Chiaki Table Studio”のHPです。スタジオで開かれるイベントや教室のご案内などが載っています。美しい写真もご覧になれます。

URL <http://www5d.biglobe.ne.jp/~chiaki t/>



♪ 「鷹啄栄峰展」オープニングコンサート

9月4日(木)6時ごろから

サティの演奏家として知られる<柴野さつきさん>と音楽プロデューサー<尾島由郎さん>のユニットでおとどけます。下記のURLで活動の詳細をご覧ください。

<http://www.strim.or.jp/~chainon/#favorite>

## ——活動のご報告——

1998年12月の<アルテクルブ>発足以来、今年の11月で50回目の企画展を迎えようとしています。既成のアートのあり方に疑問を抱いた仲間たちと、市民がボランティアに運営する「まちづくり」を目指す仲間たちが集まり、<アート>と<まち>が在るべき形を探ってきた5年間ですが、様々な成果と共に、課題も見えてきました。以下に、今年8月に実施したアンケート結果と、今まで事務局に寄せられているご意見をまとめてみました。

### アンケート結果

#### ●アートサポーター（会場担当）として参加して成果

- 1、色々なアーティストをお迎えして、ギャラリーで直接お話を伺える機会があり、同じ時代に生きている「一個人としてのアーティスト」が身近に感じられ、苦しみながら生み出される「作品」についても、より理解を深めることができた。（多数）
- 2、作家より提供いただいた小さな作品を求めて、居間の壁に掛けたり、日々の食卓で使ったり、ずいぶん潤いに溢れた生活になったように思う。（多数）
- 3、今までの人間関係は、ご近所と、子供の学校関係、カルチャーセンターと言う限られたものだったが、アートサポーターとして参加して、まったく違う人間関係が展開し、これからの人生が楽しくなった。作家や音楽家、他の会場係りの方々など、色々な人と出会えるのがうれしい。（多数）
- 4、1回しか参加したことがなく恐縮ですが、当日は作家の方や訪れる方々とたっぷりお話することができて、本当に有意義でした。これはアルテクルブの良さを実感できる場所だと思いました。（鎌）
- 5、参加することで、ギャラリーへの愛着も沸きますし、積極的に参加できる、また参加しやすいようなもの（ホームページにカレンダーを作成するなど）があればさらに良いと思います。（鎌）

#### 課題

- 1、会場担当者が限られており、もう少し人材がほしい。
- 2、来廊者が少ないので、PR（新聞の催物など）が必要かと思えます。（お金かけないで）（佐）
- 3、開廊時間帯 12:00～19:00 ですが、11:00～17:00ぐらいでも差し支えないのでは。17:00以降は少ないと思えます。（佐）

#### ●オープニングパーティーに参加して

- 1、作品を展示してある会場で音楽を聞いたり、その作品と季節に合ったお料理をいただいたり、作家の制作にあたってのコンセプトなどのお話を伺ったり、そんなアートの楽しみ方があるのをここで知りました。このようにアートを楽しむことを、他の方にも伝えたい。（多数）
- 2、こんな素敵な空間を、もっと多くの方に楽しんで頂くために、会員は友人同伴で参加することにしたらどうか？

#### ●まち歩き、建築見学会に参加して成果

- 1、都市計画や建築の専門家と一緒に、まち歩きに参加しましたが、時代の移り変わりと共に、建築のデザインや造り方が変わると言うことが解り、何気なく通り過ぎていた建物についても見方が変わった。街の中に物語りを感じられるようになった。今までは、建物単体を見に行っていただけでしたが、違う楽しみ方があるのを、知りました。（多数）
- 2、建築を専門にしていますが、専門家以外の方と一緒に歩くと、歩く速度が違うので、思わぬ発見をすることがあったり、ほっと腰掛けて街を眺められる場所がほとんど無く、改めて街の中のオープンスペースの作り方が重要だということがわかりました。

#### 課題

- 1、タイムリーではあるが、間隔が開きすぎているので、もう少し頻繁に開催してほしい。（多数）

#### ●作家・作品について

##### 成果

- 1、マスコミに取り上げられていなくても、すごい作家はいるのだと思った。

##### 課題

- 1、壁面に掛けたり、飾る作品は多いが、毎日の生活の中など、身近に使える作品がもっとあればいいと思う。（多数）

#### ●イベントについて

- 1、文楽の公演を料亭で食事付で開催したが、出演料の問題があり、その後開催されていない。補助金を申請せずに、開催できる手立てはないのだろうか。
- 2、他会場を借りてのコンサートでは、参加者が少ない。広報に問題があるのでは？
- 3、年1回など定期的に、三番町ギャラリー以外の場所も取り入れた企画も面白いのではないかと思います。（屋外や、協力をいただける他の場所と数カ所歩いて巡ることができる企画や、皆が何かしら役割を担う(!?)、参加型を取り入れたりする、製作過程を見ることが出来る。企画の提案を募り、実際の作業などは主に提案者が行う、など。）（鎌）

#### ●運営について

- 1、会計については、協賛金に頼っているとみられる。「アルテクルブグッズ」の販売とか、自立の手段を他にも考えられないだろうか。（多数）
- 2、作家より提供された作品をレンタル出来るようにし、多くの方が、気軽にアートを楽しめる仕組みを作ったらどうか。たとえば、収蔵作品何点か、2、3ヶ月で交換して、年間 10,000 円ぐらい。自分で交換に来る事が条件で。
- 3、ギャラリー来訪者が、ちょっとしたお付き合い程度で買入れ出来る小品があれば、販売実績が上がると思えます。（佐）
- 4、オープニングパーティーとミニコンサートも経費がかかるのが目に見えます。一部有料化出来ないでしょうか。（佐）

## ●その他

- 1、これまで市内や近郊の友人、知人に三番町ギャラリーを紹介したところ、場所を知っているものの「入りにくい」と言われたことが2回ほどあります。考えてみたら、私も初めてオープニングパーティに参加したときには、ちょっぴり勇気が入りました。(すぐにお話できるようになりましたが)そこで、お料理をいただく前の連絡事項等の時間に、初めていらした方をみなさんに紹介するといったことをさせてはいかがでしょうか。また、開催中は、お天気の良いときには展示会の立て札(?)を、歩道に近いところへ移動したり、イーゼルを使ってみたりしてはどうかと思います。より多くの方に知っていただくために。(鎌)
- 2、お盆明けの三日間、越後妻有アートトリエンナーレを体験してきた。会場は日本一の豪雪地帯。この豪快かつ繊細な風景の中に、224作品が東京23区よりはるかに広いエリアに展示されるという国内最大の現代美術展だ。規模を「あるってくるぶ」と比較するのは無謀であるが、作品のレベルは同等か、我が方が上! しかも駅から3分、音楽、料理、ワイン付。こんな環境ほかに無い。感謝しましょう! 会への要望は、室内から飛び出して野外展を、と思っていたらタイムリーなことに秋に「国際野外の表現展」 皆さん是非行きましょう。室内とはまた違った雰囲気味わえるはずです。(塩)

以上、今までに寄せられているご意見です。ぜひ、参考にして、これからも「元気の出る会」にしていきたいと思えます。また、今回のアンケートに限らず、ご意見、ご提案は随時検討させていただきますので、何かお気づきの場合はぜひお声がけ下さい。

※右の<国際野外の表現展>に、アルテクラブは協力しています。9月18日(水)~9月23日(火)川越市立美術館(川越市)では、会場監視ボランティアを募集しています。ぜひ、ご参加下さい。

三番町ギャラリー  
川越市南通町14-3  
三番町ハウス103  
Tel 049-226-7735

アルテクラブ事務局  
草野建築設計事務所内  
川越市南通町14-3・102  
Tel 049-227-8176  
Fax 049-227-8178  
e-mail [kusano@artclub.org](mailto:kusano@artclub.org)  
URL <http://www.artclub.org>

## ——これからのスケジュール——

□「アルテクラブ」は、市民の自主的な参加によって、様々な芸術活動やまちづくり運動を自ら企画、運営し、町に住むことを楽しみたいと考えている会です。みなさんのご提案をお待ちしています。参加してのご感想も、どしどしお寄せ下さい。また「アルテクラブ」は、薄く、広く、皆様のご支援を受けたいと考えています。年会費3,000円の会員が一人でも多く参加していただけると嬉しいです。

### \*ギャラリー会場担当ボランティアを募集しています! アートサポーターとして、参加してみませんか?

- 9月 5日(金) 前半12時~4時、後半4時~7時
- 6日(土) 前半12時~4時、後半4時~7時
- 7日(日) 前半12時~4時、後半4時~7時
- 12日(金) 前半12時~4時、後半4時~7時
- 13日(土) 前半12時~4時、後半4時~7時
- 14日(日) 前半12時~4時、後半4時~7時

\*前は、大島さん、新井さん、小倉さん、が担当されました。

\*会場担当者は時間が拘束されます。参加された方にはポイントがつきます。今までの提供作品会員割引20%に加え展示作品もポイント獲得数に応じて最大30%off(例:ポイント獲得数10の方は10%offとなります。)

お時間のとれる方は、草野まで連絡して下さい。

## —— お知らせ ——

### 国際野外の表現展・コンセプト作品展 会場監視ボランティア募集のお知らせ

世界各国から集まったアーティストたちによって、野外空間に展開されたアートの様々な表現を通じ、現在私たちが直面している諸問題を顕在化させるとともに、自主的に参加した市民とアーティストの国際的な交流を目的に計画された<国際野外の表現展>は、昨年、プレ展として位置づけられて、東京電機大学鳩山キャンパスにて開催されました。

今年は、2003年10月10日~11月3日まで、東京電機大学鳩山キャンパス、大東文化大学東松山キャンパス、国立女性教育会館、東松山ウォーキングセンターなどで、開催されます。それに先立ち、9月2日よりコンセプト小展を3ヶ所で開催します。

### 国際野外の表現展 2003 比企

- ・主催 国際野外の表現展実行委員会
- ・共催 We Meet Again 再会プロジェクト実行委員会
- ・協力 東京電機大学理工学部、大東文化大学環境創造学部、国立女性教育会館
- ・会期 10月10日(金)~11月3日(月)
- ・会場 東京電機大学鳩山キャンパス、大東文化大学東松山キャンパス、国立女性教育会館
- ・コンセプト作品展
  - ①9月18日(水)~9月23日(火)川越市立美術館(川越市)
  - ②10月10日(金)~11月3日(月)東松山ウォーキングセンター
  - ③10月1日(水)~10月11日(土)亜露麻ギャラリー(東松山市)
- ・サビーネ・スタンゲ、ヒルデガルド・イエーケル 二人展(ドイツ)  
10月12日(日)~10月18日(土)亜露麻ギャラリー(東松山市)

お問い合わせは、実行委員会事務局 小野寺まで

Tel 0493-35-4506